

平成29年度 免許状更新講習 開設講座一覧

講座領域	No.	講座名	講座内容	担当講師	開講日	考査
必修領域	1	日本と世界の教育動向／子どもの生活の変化と課題	本講座では、以下の4点を扱う。①国の教育施策について、現行教育基本法のポイントを確認しつつ、教員制度改革に関する中教審諮問や答申を扱う。②世界の教育動向について、フィンランドの幼児教育制度をとりあげる。③カウンセリングマインドの必要性を理解するためのワークショップを行う。④子どもの生活の変化に関して、受講者への事前アンケートなどをもとにテーマ設定をして講ずる。	大佐古 紀雄	8月18日(金)	筆記試験
	2	子ども観、教育観についての省察及び子どもの発達に関する最新の知見(特別支援教育に関するものも含む)	①歴史上及び現代にも存在する様々な子ども観と、それらの子ども観に基づく教育観について解説する。それらはどのような教育実践へと繋がっていくのか、事例を交えながら省察する。 ②子どもの発達について解説する。特に発達障害をもつ子どもの発達とその支援について、脳科学的知見など新たな知見からの裏付けも用いながら、適切な支援について解説を行う。 主な受講対象者である幼稚園教諭が普段の実践と繋げて理解しやすいような事例考察を取り入れながら、上記の内容に取り組む。	栗山 宣夫		筆記試験
選択必修領域	3	教育相談ー子どもの理解とカウンセリングー	子どもたちの示す様々な行動にどう受け止めたら良いのか戸惑いを関することが多い。本講座では主に幼稚園などの教育現場で子どもたちのしめす行動や心の問題を取り上げ、主に幼稚園や小学校などでの教育相談の進め方について概説する。具体的には幼稚園や学校における教育相談の取り組み、子どもの心身の発達の理解、配慮を必要とする幼児の理解と対応、心理アセスメントの方法、学校における教育相談の進め方、スクールカウンセラー等の活用、専門機関との連携方法などについて概説を行う。	小野澤 昇	8月21日(月)	筆記試験
	4	保育現場における安全教育について	幼児期の事故や怪我は子どもの発達上避けては通れない道であり、年齢・四季・性別等によって事故や怪我の内容も異なってくる。 本講座では、幼児期に発生しやすい事故や怪我の種類などの実態把握を行い、保育現場に求められる安全教育を中心に取り上げ、学校安全の考え方、指導方法、保護者対応について学習していく。	望月 文代		筆記試験
選択領域	5	発達障害をもつ子どもの理解とその支援	自閉症などの発達障害について、詳しく解説する。行動的な特徴にとどまらず原因等についても、最新の知見も用いながら解説する。 「こだわり」「偏食」「待ってられない」等、様々な「問題行動」と呼ばれるものにある意味や原因をまずは理解し、その理解の上で、具体的な支援の内容・方法を探求する。	栗山 宣夫	8月23日(水)	筆記試験
	6	ボイストレーニング	保育の現場では、子どもたちへの日常的な声かけ、音楽的な活動、または絵本の読み聞かせなど、様々な場面で「声」を使っている。そこで、本講座では呼吸法と発声練習を通して、酷使されている声帯の回復法を学び、最も衰えない筋肉といわれている声帯の維持と発達について学ぶ。また、美しく効率的な声で話し歌えるように、子供の歌やクラシック曲など様々な歌を通して体全体を使う発声を体得していく。	内田 基美		実技考査
	7	幼児の感性を育む造形表現と教材開発	様々なメディアによる情報が溢れ、造形表現方法や造形作品表現と教材開発の価値観も多様化している現在、幼児の感性を豊かにするための造形教育が改めて見直されてきている。本講座では、保育場面における幼児期の造形体験から感性を豊かにしていくための実践と指導方法について学ぶと同時に、幼児の感性と想像力の向上を養う造形教材開発を検討する。	渡辺 一洋		実技考査
	8	日本語教育と時事問題における保護者との関わり方	【ことばの知識】 ・常識的言葉の再学習 【短歌鑑賞】 ・心の壁と脳の壁をふるわす 【幼稚園教諭としての公文書の作成】 ・卒園式の案内文の作成 【時事問題】 ・時事問題における保護者との関わり方	関 雅夫		筆記試験

平成29年度 免許状更新講習 開設講座一覧

講座領域	No.	講座名	講座内容	担当講師	開講日	考査
選択領域	9	子どもと保護者に「いのちを大切にできる心」を育む保育について	幼稚園から大学に至るまでの学校教育において「いのちを大切にできる心」を育てることは非常に重要な課題である。しかし、社会に目を向けると多くの痛ましい出来事が後を絶たない。 こうした現実に対し「生命に対する優しい心を育む」ために、乳幼児期における教育の重要性とそこに係わる幼児教育者のあり方の意味について具体例を紹介しながら考えてみたい。	佐藤 達全	8月24日(木)	筆記試験
	10	健康と子どもへの運動指導について	幼児期のコーディネーションからゴールデンエイジ理論まで幅広い内容を取り上げて学習を進める。	正保 佳史		筆記試験
	11	病気をもつ子どもの理解とその支援	現代は医療の進歩により、小児がん等、以前は治癒が難しかった病気の治癒率が著しく向上してきている。それとともに入院中の子どもの保育の必要性や、また近年の入院期間の短期化傾向により、病気もちながら地域の幼稚園や保育園、認定こども園に通う子どもへの特別な配慮の必要性が高まってきた。 そのような子どもたちへの理解と適切な配慮について講義する。病気や治療についての理解、それに応じた教育的配慮について学ぶ。	栗山 宣夫		筆記試験
	12	豊かな音楽活動を展開するための基礎技能	保育現場では日々、様々な音楽活動が展開されている。その活動を通して、子どもたちの豊かな感性を十分に引き出すためには、保育者が基礎的な音楽技能を身につけ、音楽の真の楽しさを理解していることが前提となる。本講座はそのうち、多くの保育者が課題として抱えるリズム遊び、弾き歌い（コードに関する理論を含む）に焦点をあてる。講義と演習、個人レッスンにより、それら基礎知識、技能の獲得および復習を行う。	林 智草	8月25日(金)	実技考査
	13	子どもの想像力を育む共同的な壁画の制作	本講座では、子どもの歌を題材に参加者それぞれの想像世界を表現しながらも、数名のグループによる共同的な表現へつなげていきたい。活動の中で行われる様々なコミュニケーションによってより豊かな表現が実現できることを知る。描画に限定せず、様々な自然素材や年度などの造形材料を用いた半立体的な表現活動を試み、保育に展開できる教材の開発についても考える。	加藤 啓治		実技考査